

特定看護師に期待される役割



白山石川医療企業団
公立つるぎ病院

2019年11月5日

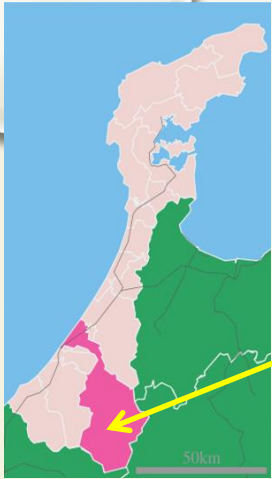
吉野谷診療所

看護師長



特定看護師（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）

佐々木 清美



吉野谷診療所



- ◎理想のかかりつけ医を目指しています
- ◎在宅医療を重視しています
- ◎24時間体制で相談、往診、訪問診療、在宅看取りを支援しています

最期まで住み慣れた自宅や地域で過ごしていけるように、多職種と協働し支援しています

地域包括ケアシステムの構築

吉野谷診療所

1951(S26)開設(吉野谷村診療所)

1992(H4) 橋本医師が赴任
訪問診療開始

2008(H20) 白山石川医療企業団に統合

2009(H21) 電子カルテ導入

2018(H30) 電子カルテ統合



高齢化率
47%以上

医師1名 事務2名 PT1名 OT若干名(兼務)
看護師2名(1名は**特定看護師・介護支援専門員**)

外来受診者:1日平均40名前後 8割以上が高齢者
訪問診療患者:約20名

特定看護師を目指した理由



- 栄養管理はすべての治療の基盤となるもの
高齢者は、低栄養や脱水に陥りやすく、重症化しやすい。
- 複数の疾患を併せ持ち複雑化している病態に対応する為
医学的知識や技術、判断能力を身につけ、医療(診る)と
生活(看る)の両方の視点から対応することが必要となる。
- 患者にとって看護師は一番身近な存在であり、
患者の状態をタイムリーに捉えて適切に介入することが患
者の安全・安心につながる。

腎機能が低下している超高齢の患者

施設職員への指導

- 検査データから慢性腎臓病（CKD）ステージ4（高度の腎機能低下）の状態であることを職員に説明。
- 家族面談の結果、看取りも視野に入れ経過観察していくという意向を説明。
- 腎臓病のパンフレットを渡し、施設内で実施可能な食事指導（塩分制限など）を行ない、味噌汁や漬物を控えていただいた。



経口摂取がすすまず胃ろうを造設した患者

施設職員と連携し支援

①好きな物やのどごしの良い物、食形態の工夫を提案し
経口摂取を促す。→ 食べる意欲がなく摂取量増えない・・・

②胃ろうより栄養剤を注入。

1回の注入量を少量に、ゆっくりと。

体位の工夫（ギャッチアップなど）。→ 嘔吐を繰り返す・・・

半固形の栄養剤に変更。

③脱水の補正として特定行為（点滴）を実施。



手順書の一例（脱水の補正 在宅用）

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり

主治医に連絡

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

在宅療養の患者（訪問看護を受けている患者を含む）または施設入所者で、

・自他覚症状や飲水量や排尿回数等から脱水が疑われる

または、

・脱水による補液を繰り返しており、今後脱水を起こしうる可能性が高いと考えられる患者

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

☐ 意識状態の変化なし

☐ バイタルサインの変動が見られない

☐ SpO₂ ≥ 90%

☐ 基礎疾患に重症の心不全や腎不全、および重度の慢性腎臓病が認められない

安定
緊急性なし

病状の
範囲内

主治医に連絡

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐ 意識・バイタルサインの変化
- ☐ バイタルサインの変化
- ☐ 心不全徴候 (SpO₂ < 90%)
- ☐ 補液による溢水と思われる自他覚所見 (呼吸苦、喘鳴、浮腫など) が出現していない

どれか一項目でもあれば、下記の確認をして担当医に連絡

- ☐ バイタルサイン (血圧、脈拍、呼吸数、経皮的酸素飽和度)
- ☐ 肺音聴診でう音 (crackle, wheezing) の聴取
- ☐ 浮腫 (顔面、下腿など) の悪化

【医療安全を確保するために、医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

担当医師:

【特定行為を行った後の医師に対する報告方法】

1. 担当医師の携帯電話のメールにて連絡
2. 診療録への記載



症例を振り返って・・・

Aさんの入所する施設には栄養士や常勤の看護師が不在であり、病態についての説明や食事指導が、介護職員の意識付けにつながった。

Bさんの施設には多職種が勤務しているので連携しながら支援したが、食事量が増えることはなかった。もっと早い段階からの介入が必要だったと思われる。

診療所の特定看護師として・・・

- ・地域の特性や患者背景を熟知して患者・家族多職種と協働して対応することが重要である。
- ・患者・家族のサポート役、多職種協働の調整役として、在宅と病院をつなぐ役割を担う。
- ・状態に応じて特定行為を実施し重症化を防ぐ。
- ・一人体制で診療している医師の負担軽減につながる。



「白山つながりカフェリンク」に参加

地域の多職種で連携し、介護を受ける方や家族の
「満足できる暮らし」の実現に向けた支援の充実を目指す会

～熱中症対策・予防・判断と対応～

原因は？

症状は？

対策は？



よしのオレンジカフェ(認知症カフェ)

認知症の人が書きました



「特定看護師」
の周知と啓発

研修や学会
への参加

これからの活動

看護の知識や技術をベースに、医学的な知識を活用しながら、より質の高い医療や看護を提供していきたい。

後進の育成

特定行為
の実施

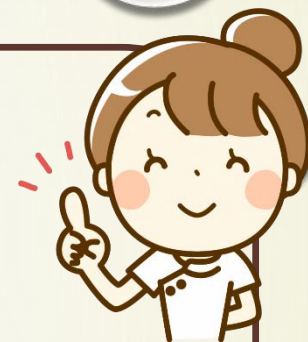
患者・家族や多職種から信頼される
「**地域のかかりつけ看護師**」を目指し、住民が安心して生活（療養）できるように活動していきたい。

患者・家族や
施設職員、多職種
へのアドバイスや
相談

認知症カフェ
や地域サロ
ンへの参加

病院での
NST委員会や
回診への参加

今後の課題



- ・看護師特定行為研修制度の認知度アップ
- ・特定行為実践に関する院内外への周知
- ・知識や技術を維持・向上させる ブラッシュアップ

ご清聴ありがとうございました